

2024年 2月 15日 第2552回例会
2月第3例会

RI会長テーマ: Create Hope in the World
「世界に希望を生み出そう」

本年度会長テーマ Build FUTURE
「50年の過去に感謝し、50年先の未来を築こう」

「平和構築と紛争予防月間」

◆ 会長時間 ◆

諏訪(浩)会長

【世界平和について考える】

ロータリーは自己教育運動です。



2月は「平和構築と紛争予防月間」ですが、特に2月23日から始まる1週間は、ロータリーが定める4つの「特別週間」のひとつで「世界理解と平和週間」です。

ロータリーが創設された2月23日は「世界理解と平和の日」とされ、各クラブは、国際理解、友情、平和への貢献を強調しなければなりません。この日から始まる1週間が「世界理解と平和週間」です。当クラブの定款にも、第14条第4節に、「ロータリーの発祥を記念して、ロータリーの創立記念日、2月23日の週は、世界理解と平和週間である。この1週間、本クラブはロータリーの奉仕を祝い、これまでの業績を振り返り、地域社会と世界中で平和、理解、親善のためのプログラムに重点を置く。」と書かれています。

当クラブは平和都市広島に位置するクラブとして、独自に8月を「平和月間」と定め、平和に関連する卓話などを実施していますが、特色のある奉仕プロジェクトを企画して、もう少し「独自性」を発揮してもいいように思います。今月の「平和構築と紛争予防月間」あるいは8月の「平和月間」どちらでもいいと思いますが、そのようなプロジェクトの実施を検討したらどうでしょうか。

さて、世界平和という視点で世の中を見てみま

すと、ウクライナやガザ地区での紛争、中国の脅威、報道されない紛争も実は多発しています。ハーバード大学教授のサミュエル・ハンティントンは、20年以上前に書いた「文明の衝突」で、これらの紛争をみごとに予言していました。それが現実となっている今、大昔に読んだこの本の予言が的中していることに驚くと同時に残念に感じています。

世界は「国」という枠組みではなく、「言語」あるいは「文化文明」でくると見えてくるのがたくさんあります。そしてこれらの間の衝突は、キリスト教とイスラム教、資本主義と社会主義の摩擦のように、残念ながら避けることができないと、ハンティントンは結論しています。

もしそうだとしたら、世界平和を目的とするロータリーに属する私たちにできることはあるのでしょうか。以前申し上げたように、私たちロータリアンが人に優しくする心を養い、それを仲間のロータリアン全てに、家族に、職場で、社会で発揮するという、個人が行う小さな行為が、ひいては世界平和に貢献する土壌を造り上げるのではないかと信じています。皆さんは例会で仲間と目を合わせて微笑んでいらっしゃるのでしょうか。まずはこの広島西ロータリークラブがそんな小さな理想世界になることを、みんなで目指すのがロータリーです。

(注) ロータリーの特別週間: 「ロータリー学友参加推進週間 (10月7日を含む1週間)」、「世界インタラクティブ週間 (11月5日を含む1週間)」、「世界理解と平和週間 (2月23日～3月1日)」、「世界ローターアクト週間 (3月13日を含む1週間)」

● 会務報告 吉田(大)幹事

※ 25日(日) 14時からグループ6・7合同インターシティーミーティングがリーガロイヤルホテル広島にて開催されます。出席回答をいただいている方のBOXに当日のプログラムを入れておりますので、よろしくお願ひします。なお、駐車場の用意がありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。また、やむを得ず欠席される方は事務局までご連絡をお願いします。

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 大地君

本日 (2月15日・木曜日)

会員数 91名 出席者 73名

欠席者 18名 ご来客 0名

ご来賓 1名 ゲスト 0名

計 74名

4週前の例会2024年1月18日・木曜日

出席率 100%



※ 国際奉仕委員会 田島委員長

29日例会は卓話時間を20分延長し、国際奉仕部門担当クラブフォーラムを開催いたします。

※ ロータリー情報委員会 原君

ロータリー情報委員会です。今月は「平和構築と紛争予防月間」となっております。このワードをお聞きになって、皆さんどのようお感じになりますか。毎週このANAクラウンプラザホテル広島での昼食時間に、こうした「平和構築」や「紛争予防」といった、やや重ための話題を意識することはとっつきにくいことかもしれません。ロータリー情報委員会が会員の皆さんに登録を呼びかけている「MY ROTARY」の中ではロータリーとロータリアンの「平和の推進における役割」として次の四つを挙げています。実践者(として)：疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域経済の発展といった分野でのロータリーの活動が、平和な社会への最適な条件を作り出します。

教育者(として)：ロータリー平和センターでは、効果的な平和の推進者となる1,700人の平和フェローを育成してきました。卒業したフェローは、政府、教育、国際機関などで平和分野

のキャリアを築いています。

調停者(として)：ロータリー会員は、ポリオの脅威にさらされた地域のすべての子どもにワクチンを投与するため、紛争地域における人道的停戦の交渉を行ってきました。

提唱者(として)：ロータリー会員は、平和構築や紛争後の復興プロセスに積極的にかかわり、重要な役割を果たしています。

これらを一度に実践できればよいのですが、ハードルが目の前に立ちふさがることも事実でしょう。

「平和を築くロータリー」というパンフレットがあります。PDFデータがMY ROTARYで閲覧できます。この中では「ロータリーは生きるための手段として紛争の道を選ぶことに反対します」と記載されています。紛争予防が平和構築につながることはもちろんですが、貧困、差別、教育機会の欠如をなくすことも「平和」であることも事実です。会員一人ひとりが取り組めることから、関心を持つことが「平和構築」の第一歩ではないでしょうか。

来週2月23日は、1905年ロータリーの創始者 ポール・ハリスが、友人3人と最初に会合をもった日です。この2月23日は、「世界理解と平和の日」とされ、2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」としています。

※ 青少年・インターアクト委員会 中岡委員長

2月10日(土)、総勢16名(広島修道大学協創高校IAC生徒10名、顧問の山下先生、ウィリアム君、広島西RCメンバー4名)で、本郷町の八天堂にてパン作り、呉市蒲刈町にて藻塩作りの体験をいたしました。当日は天候にも恵まれ、事故やトラブルもなく楽しく有意義な1日でした。





同好会報告

紫友会 川村世話人



2月10日(土)、広島ゴルフ倶楽部鈴が峰コースで、第8回紫友会例会を21名の参加で開催いたしました。

優勝はOUT42 IN46 グロス88 HC23.4 ネット64.6で、広島西RC OBの梶川 博さんが勝ち取られました。梶川先生は御年85歳。シニアの部優勝、今年から設定された80歳以上のグランドシニアの部優勝と、三冠同時受賞されました。

準優勝は長谷川(剛)君、3位は中村(光)君、ブービー賞は上野(寛)君、ベスグロ賞は79の上田君でした。

次回例会は3月9日(土)、広島ゴルフ倶楽部鈴が峰コースで開催いたします。

会員記念日

ご入会記念月おめでとうございます。

(13名)

梶本君 (H17年)	柴田君 (H18年)
原 君 (H18年)	小田君 (H21年)
香川(浩)君 (H21年)	福田君 (H25年)
田原君 (H28年)	上野(寛)君 (H29年)
吉田(浩)君 (H30年)	大谷君 (H30年)
川妻君 (H30年)	熊本君 (H30年)
平原君 (H30年)	

創業月おめでとうございます。

(5名)

上野(純)君 (南石亭)	古本君 (株古本建築設計)
片山君 (株コマップス)	新本君 (株ウィズソル)
熊本君 (株仁未来)	

スマイルボックス SAA 中村(光)君

紫友会優秀成績の皆さん

2月10日(土)、広島ゴルフ倶楽部鈴が峰コースで、第8回紫友会が開催されました。優勝の梶川 博さん(OB)からダブルをいただいております。準優勝の長谷川(剛)君、3位の中村(光)君、ブービー賞の上野(寛)君、ベスグロの上田君、出宝お願いいたします。またシニア優勝&グランドシニア優勝梶川さんから、続いて出宝をいただいております。

荒谷君

経済レポート(赤)2月13日号に「国土交通省中国地方整備局は、令和4年度に完了した工事・業務の中から、中国地方公共工事発注機関が発注した建設工事・インフラ分野のDXに関わる優れた取り組みを行った企業・団体を表彰した」と掲載されていました。

その中で、株荒谷建設コンサルタントさんの令和3年度可部バイパス測量設計業務が表彰されました。

渡辺君、諏訪(浩)会長、森信君

渡辺君、入会おめでとうございます。新会員の渡辺君、推薦者の諏訪(浩)会長、推薦同意者の森信君、笑顔で出宝お願いします。

全会員の皆さん

1905年2月23日にポール・ハリスにより世界最初の『ロータリー』が創始されました。

この2月23日の記念日は、われわれ広島西RCのメンバーがロータリアンとして自覚し、ロータリーの目的・ロータリアンの行動規範・四つのテストを実践できているか振り返る機会にもなると思います。

「ロータリー創立記念日」を迎えるにあたり、お祝いの気持ちを込め全員出宝お願いいたします。



次回例会予告

日時	内 容
3/7(木)	広島西RC創立記念夜間例会

スポーツを通して支えて いただいた方への感謝



元広島東洋カープ投手 **中田 廉氏**

私は生まれが廿日市で、2歳まで住んでいました。実は父親がカープの選手でした。父は2軍暮らしが多く、2軍の寮が大野にありましたので廿日市に居たのです。選手としては僕の方が活躍したということでしょうか（笑）。それから大阪に行きまして、中学3年まで居りました。野球を始めたのは、小学6年生の時、友人に誘われてからです。その友人が誘ってくれなかったら野球はやってません。野球に誘ってくれた友人に感謝です。

中学2年の時、報徳学園に進学が決まっていたのですが、中学3年の時の呉での試合で、たまたまピッチャーをやったのを広陵のスカウトの方が見られて、中井監督が「中田が欲しい」と言われたそうです。で、母親とも相談をしたのですが、報徳学園をお断りして広陵に入ることになりました。

広陵に入ると、いきなり先輩に「お母さんに迎えに来てもらいたかったら今すぐに帰れ！」と言われ、高校野球人生が始まりました。中井監督には3年間、人間教育をたたき込まれました。監督から技術を学んだことはないのですが、挨拶と便器を舐められる位ピカピカにし、お客様の来られる所はスリッパをキチッと並べ、チリひとつない位の掃除を徹底的に教え込まれました。その事がプロになって非常に役に立ちました。

プロに同期で入ってきた他の高校生は挨拶できない、返事しない、上下関係等も気にしません。ビックリしましたが、僕は広陵の教育のお陰で可愛がってもらえたと、他の高校生がそういうこと

を教育されている時間に練習をすることができました。「人を大事にしなさい」「感謝の気持ちを常に持ちなさい」と、人間教育をたたき込んでもらった中井監督に感謝です。

5年目に松田オーナーが「君は、技術はそんなに伸びてないけど人間ができてるとスタッフから聞いている」と言われ、すごく嬉しかったのを覚えてます。たいした成績が残せなかった中、本当に運が良く、2016年～18年の三連覇を経験させてもらいましたし、カープでなかったら14年もたなかったと思います。

一昨年引退した時、仕事もなく途方に暮れ、貯金を切り崩してましたが、アスリートコメンテーターという肩書きで、テレビ、ラジオ、コラムの仕事が少しずついただくようになりました。

ラジオの初仕事は、1時間一人でしゃべるというもので、大変でしたが徐々に慣れていきました。そのラジオを柴田様が聞かれて、今日の卓話依頼に繋がったと聞いております。どこでどう繋がるかわからないものです。常に油断してはいけないと戒めています。

新井監督の采配で去年は下馬評を覆し2位になり、すごい監督だなと思いました。新井監督は1軍はもちろん2軍の試合も可能な限り見られています。そして「選手に感謝」と、よく言われます。そういう所から選手との信頼関係が培われるのだと思います。今年も新井監督の采配で上位間違いなしです。また今年のカープは西川選手が抜けましたが、田村選手に注目です。前田さん2世になっていくと期待されています。

達川さんがテレビの方に「中田に解説させろ」と話してもらえまして、今年から解説もやります。達川さんに感謝です。達川さんを抜けるような解説者になろうと思っています。

これからも、人とのご縁を大切にしながら感謝の気持ちを忘れないように生きていこうと思います。広島は大好きな町です。カープOBとして人の為になる奉仕活動、社会活動をしていきたいとも思っています。本日はご静聴ありがとうございました。

広島西RC 検索

例会日・木曜日 12:30～13:30
 例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
 会長 諏訪 昭浩
 幹事 吉田 大蔵

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
 リーガロイヤルホテル広島13F
 TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
 E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
 作成・会報雑誌・広報委員会